

■砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

ご意見の要旨	市の考え方
<p>JA新すながわ産米のブランド化はたいへんうれしいニュースでしたが、国内での販売や輸出はできないでしょうか。</p>	<p>現在、JA新すながわ産米の約40%が道内で、60%が道外で販売されています。海外に輸出する際には、国内での価格に加えて輸送・流通コストが上乗せされるため、海外市場での販売価格が高くなり、現地の米との価格差を納得させるだけのブランド化が不可欠となります。</p> <p>今回、「JA新すながわ産米」のブランド化が促進されましたが、今後も、さらなる品質向上を目指し、国内において確固たる地位を築いたあと、輸出に向けて検討ができればと考えています。</p>
<p>野菜・果物等について、冬期間も収入があるような通年栽培の研究を行い、米・野菜の自給率100%を目指せば、移住・定住者の呼びこみができると思います。</p>	<p>市内では施設（ビニールハウス）によるトマト、きゅうり等の栽培が盛んであり、施設内を保温することにより通年栽培は可能ですが、冬期間は暖房設備費や暖房費がかかり、本州産より高値となります。</p> <p>通年栽培を実現するには、価格の低減や付加価値の向上、品質の向上が課題と考えていますので、実現の可能性を調査・研究していきます。</p>
<p>キャリア教育として、高校生に単なる仕事の経験をさせるだけではなく、工夫をしながら販売等で収入を得る「一事業主」になるよう教育をしてはどうでしょうか。</p>	<p>高校生に働くことの意義や自分の生きる方向性を考える機会を創出できるよう、市内企業と連携し、市内企業を知り、若手従業員と交流できる事業を計画しています。「一事業主」も含めた幅広い職業の選択ができるよう事業を進めることとしています。</p>
<p>各団体（農協・商工会議所・学校等）同士の交流をいかし、空知だけではなく道内から海外へと広い範囲の交流を図ってはどうか。</p>	<p>団体間の交流や地域間交流によって、観光振興や農産物等の販売促進、さらには交流人口の増加により、効果があるものと考えています。</p> <p>観光事業を通じて、中空知エリアを中心に他市町や団体等との連携を進めることとしており、また、団体・企業等と連携した都市圏居住者との交流を図り、情報発信等を行うものとしています。</p>
<p>現在、岩見沢商工会議所の発案で「日台空知親善協会」が台湾と交流を始めています。経済・文化・教育分野で進められつつありますので、積極的に一緒に活動すべきと思います。</p>	<p>市では、観光分野において外国人観光客の受け入れを積極的に進めるため、近隣市町や北海道との連携を強化しているほか、受け入れの整備を進めているところです。台湾からの訪問客については、砂川ハイウェイオアシス館を中心に年々入込客数が増えており、インバウンドの相手方として重要な国・地域の1つであると考えています。</p> <p>外国人観光客の動向を注視しながら、引き続き必要な連携を図ることとしております。</p>
<p>砂川高校の魅力をもっと明瞭化することが必要だと思います。また、各種検定（漢字・英語・数学等）の合格者数アップや、具体的数値目標の公表も必要です。また、台湾との姉妹校（他市町村・外国）も可能だと思います。</p>	<p>砂川高校の魅力向上等については、今後においても学校と協議・検討していきます。なお、合格者数のアップ、数値目標の公表については、在籍している生徒への影響も考慮し、公表しないこととしています。</p> <p>姉妹校の提携について、市内各校における提携の検討はされていませんが、他市町の状況も踏まえ、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
<p>除雪支援を実施しているのはたいへん良いことだと思います。今後も継続してほしいのですが、玄関から歩道まで幅1mではなく、さらなる支援をお願いします。</p>	<p>除雪サービス事業については、高齢者等の冬期間における生活路の確保を目的としているため、玄関先から公道までおおむね1m程度の幅で実施しており、通行が確保される範囲の対応としています。</p> <p>高齢者等に係る屋根の雪下ろし等に対する助成事業にも取り組むこととしており、今後も安心して安全に冬期間の生活を送ることができるよう努めていきます。</p>
<p>砂川駅のバリアフリー化を早急に実現してください。特にエスカレーターやエレベーターの設置は必須です。大型スーツケースを持ち運ぶ観光客や、高齢者・障がい者だけではなく、市民の利用にも大切です。</p>	<p>バリアフリー化の早期実現に向け、JR北海道との協議および内容の検討を進めています。</p>
<p>雪国に住んだことのない人が砂川市に移住定住するのはたいへん困難です。市内をロードヒーティングにするなどの大胆な方策を考えなければ安心して生活することはできないと思います。</p>	<p>雪国生活の経験のない方が移住定住するには、冬の生活が不安の1つであると考えています。市では、「お試し暮らし」住宅2棟により、移住定住を希望される方を対象に砂川市での生活を体験していただいていますので、北海道の冬の生活体験を理解していただいたうえで移住につなげていきたいと考えています。</p> <p>なお、ロードヒーティングの設置は、工事費・維持費とも高額であることから、公共性や交通安全面など総合的に判断し、限られた市道箇所を設置するものであり、新たな設置は難しいものと考えています。</p>
<p>教育についての問題意識があまりないように思えます。教育の魅力こそが人口増加にもつながると思いますので、教育委員会と学校の熱意に期待します。</p>	<p>市の教育については、すでにさまざまな事業を実施しているところです。教育の魅力向上のため、今後においても、市民の信頼と期待にこたえる教育行政を推進していきます。</p>

※ ご応募いただいた意見は、趣意を損なわない程度に内容を補足しました。貴重なご意見ありがとうございました

# 意見募集(パブリックコメント)の結果を公表します

砂川市人口ビジョン(案)と砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対するご意見を募集した結果、3人の方から17件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見の要旨と、それに対する市の考え方を公表します。

◎案件名 砂川市人口ビジョン(案)および砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

◎募集期間 平成28年1月7日～21日

◎募集結果 意見提出者数3人、意見件数17件

## 【ご意見の要旨と市の考え方】

### ■砂川市人口ビジョン(案)

ご意見の要旨	市の考え方
買い物など日常生活、仕事の見つけやすさ、住宅価格を記していますが、「買い物など日常生活」とはどういうことでしょうか。店が少ないという意味なのか、交通の便がないということなのか、それがわかれば対策を考えることができると思います。	市では、人口ビジョンおよび総合戦略に関するアンケートの1つとして転出入者に調査を行いました。いずれも札幌市および滝川市の方がほとんどでありました。砂川市の状況を見ると衣食住の総合的な大型(店)スーパー等が無いことから、転出者が「買い物など日常生活」が不便と感じた要因であると推察されます。総合戦略において商工業の振興策として、商店街の活性化を図ることとしています。
適当な住宅とは具体的にどのような物件でしょうか。狭いのか、駅から遠いのか、家賃が高いのかなど、問題点が明確になれば解決策も立てられると思います。	適当な住宅とは、アンケート結果や市内の各団体との懇談会において、「賃貸住宅の家賃が高い」、「子育て世代が入居できる間取りの住宅が少ない」との意見が多かったことから、これらの課題・問題点が解消された住宅と考えています。これらの対応策として、総合戦略において重点を置く施策として、住環境の整備を進めることとしています。
砂川は姉妹都市や小中高の姉妹校の提携がありません。新しい人の流れは、市民がもっと外に目を向け、柔軟に人を受け入れる姿勢があればできると思います。台湾との姉妹校提携も可能です。	現在、市では忠臣蔵ゆかりの地等の自治体が友好を深め、地域活性化に相互協力していくことを目的とした義士親善友好都市交流会議に加盟していますが、海外都市との交流や提携はありません。今後においても、柔軟に人の流れを受け入れることは必要と考えますが、総合戦略では、観光振興や移住定住による新たな人の流れをつくり、定住人口や交流人口の増加を図ることとしており、姉妹都市、姉妹校の提携については、今後の検討課題とさせていただきます。
砂川の出生率が1.30とは驚きました。子どもは宝です。砂川の出生率を3.0に上げたいものです。そのため、3人目の子どもが生まれたときに1,000万円のお祝い金をあげ、子育て費用に不安を持たない対策をとるべきだと思います。	出産のお祝い金の支給は計画していませんが、総合戦略においては、安心して子どもを生み育てる環境づくりとして、産前・産後のサポートをはじめ、育児負担軽減のための経済的支援や保護者の子育てと就労等の両立を支援するなど、妊娠期から出産・子育てまで切れ目のない各種支援を行い、総合的に取り組みを進めることで、子どもを生み育てたい人の希望をかなえ、出生率の向上を目指すこととしています。
冬の対策が完璧であれば高齢者は満足すると思います。灯油代、除雪、暖房等、冬の生活が一番苦しいはずですが、春・夏・秋は過ごしやすいで、何もありません。市は「冬のワンポイント」で全力を尽くしてほしいと思います。	高齢期を迎えても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会を目指し、医療、介護、予防、住まい、生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築が求められており、現在、高齢者が地域で安心・安全に暮らすことができるよう各種事業に取り組んでいるところです。今後も地域との協働を通じて高齢者のニーズの把握に努め、必要な事業に取り組むこととしています。
砂川市の人口ビジョン(概要版)を見て興味を覚え、内容も見せてもらい、膨大な資料やシミュレーションも興味深いものでしたが、全道における砂川市の位置付けとか、平均所得のランク付けなどはどのように決めたものでしょうか？ 2060年のビジョンと砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の達成を期待します。	砂川市人口ビジョンは、国等が提供している各種統計データやアンケート調査を行って分析し、策定しています。今後は、人口ビジョンに定めた目標人口の達成に向け、総合戦略を着実に進めていきます。

### ■その他

ご意見の要旨	市の考え方
少子高齢化に伴い市から人がいなくなることはとても寂しいことだと思います。改善策として、大手ショッピングモールや百貨店などの企業誘致などはいかがでしょうか。出張型の習字講座などをショッピングモール内に設けて購買意欲(消費者の心理)をくすぐるのも一つの手だと思います。	市の人口規模を考えると、大手ショッピングモールや百貨店などの誘致は、難しいものと考えていますが、今後も北海道と連携して情報収集やPRを行い、企業誘致を推進することとしています。出張型の講座について、商業施設での開催は今後の検討課題とさせていただきます。